

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第26週の発生動向

トピックス

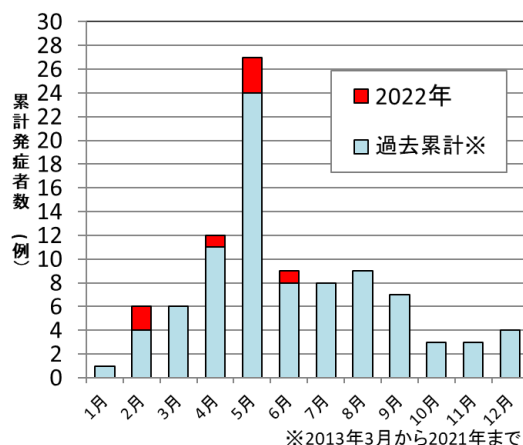
・今年8例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は80歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。また、昨年12月下旬に発症し、1月初旬に死亡した。報告数が多かった昨年(13例)の26週時点(10例)と比較すると少ない報告数となっているが、届出時点で死亡が確認されたのは今年3例目であり、昨年(0例)より多くなっている。

また、届出が開始されて以降の県内での累積報告数は、累計95例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	22	37	24	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



・新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）の報告が1,751例あり、2022年の累積報告数は53,426例となった。

全数報告の感染症（26週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核6例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱2例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	腸結核	腹痛
			80歳代	女	肺結核	失神
			90歳代	男	肺結核	咳、痰
		延岡	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
日向	90歳代	男	肺結核	咳、発熱		
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	男	—	風邪気味で調子が悪い
	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、吐き気、嘔吐、冷感
			80歳代	男	—	発熱、発疹、肝機能異常、血小板減少、倦怠感

□ **新型インフルエンザ等感染症（26週に新たに届出のあったもの）**

○新型コロナウイルス感染症 1,751例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地 保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	831例	189	175	59	151	135	43	37	23	12	7	-	
都城	311例	85	65	30	55	35	18	13	5	3	2	-	
延岡	145例	21	19	29	25	19	11	10	8	2	1	-	
日南	36例	7	11	3	5	8	-	-	2	-	-	-	
小林	66例	18	18	4	9	12	1	2	1	1	-	-	
高鍋	212例	72	51	9	36	24	8	7	5	-	-	-	
高千穂	7例	-	-	-	-	-	-	4	2	1	-	-	
日向	107例	31	27	8	12	15	5	4	4	1	-	-	
中央	33例	10	5	3	6	4	3	2	-	-	-	-	
県外	3例	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	

□ **定点把握の対象となる5類感染症**

・定点医療機関からの報告総数は375人(定点当たり10.4)で、前週比125%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎と手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

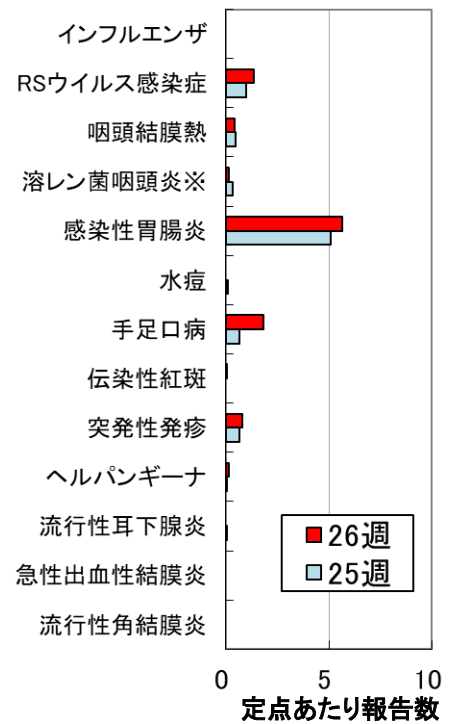
報告数は204人(5.7)で、前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.7)の約0.8倍であった。日南(19.3)、小林(10.0)、日向(6.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は66人(1.8)で、前週比287%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.6)の約0.4倍であった。日南(7.0)、都城(3.8)、延岡(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

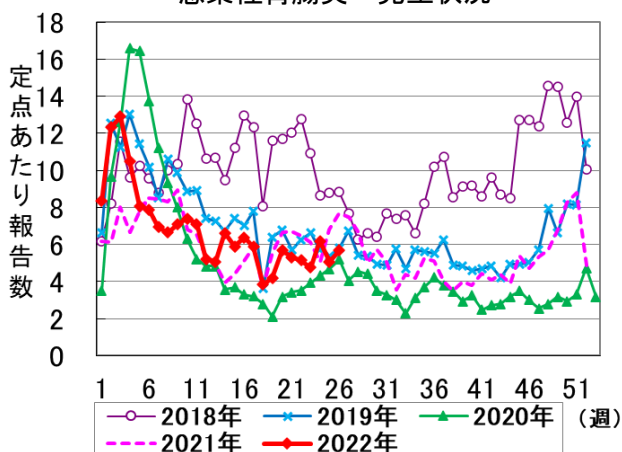
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

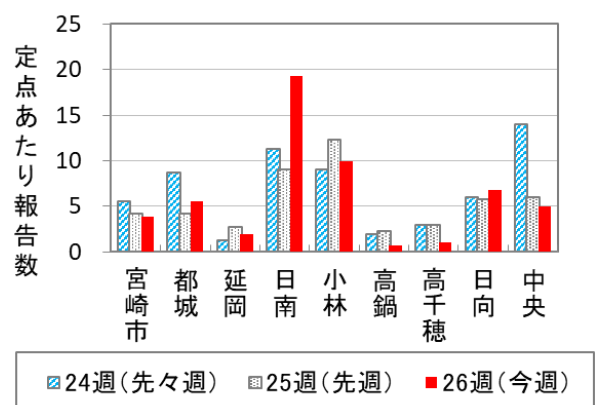


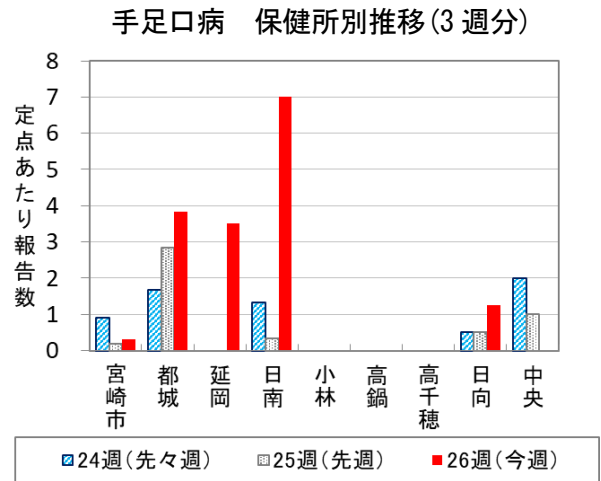
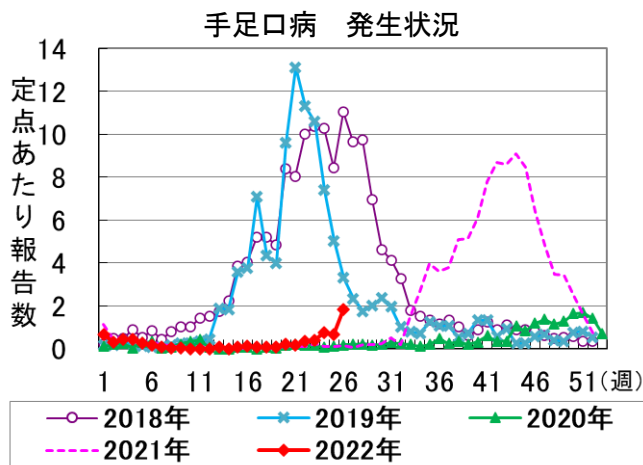
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)





★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(7.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値
・手足口病(5)

口病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和4年7月4日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O157:H7)	5~9歳	女	2022.06.02	発熱(39.2℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.06.14
EPEC(O128:H2)	0~4歳	女	2022.06.03	胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.06.14

★ウイルス なし

✚ 全国 2022 年第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	268 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	80 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	5 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	1 例	日本紅斑熱	11 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	48 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	136 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	百日咳	8 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は R S ウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 1,828 人(0.58) で前週比 135% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.92) の約 0.6 倍であった。島根県(2.3)、岐阜県(2.2)、愛知県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 16,675 人(5.3) で前週比 93% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (4.6) の約 1.2 倍であった。大分県(8.1)、福岡県(7.5)、長野県(7.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第26週(06月27日～07月03日)

疾病名	第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	36	49	8	26			1	4	10	
感染症	定点当り	1.00	1.36	0.80	0.00	6.50	0.00	0.25	4.00	2.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	15	5	3	5		2			
	定点当り	0.47	0.42	0.50	0.50	1.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性	報告数	12	5	2		3					
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.33	0.14	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	183	204	39	33	8	58	30	3	1	27
	定点当り	5.08	5.67	3.90	5.50	2.00	19.33	10.00	0.75	1.00	6.75
水痘	報告数	4									
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	23	66	3	23	14	21			5	
	定点当り	0.64	1.83	0.30	3.83	3.50	7.00	0.00	0.00	1.25	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	29	6	6	3	5	6	2		1
	定点当り	0.64	0.81	0.60	1.00	0.75	1.67	2.00	0.50	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	6	1		5					
	定点当り	0.06	0.17	0.00	0.17	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ	報告数										
肺炎	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～26週)

2類感染症	結核	60例(6)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例(1)
	日本紅斑熱	2例(2)	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	36例
	破傷風	4例	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	53426例(1751)		

()内は今週届出分、再掲